「公共建築の日」及び「公共建築月間」企画

公共建築フォーラム 2006 in とうほく

公共建築とまちづくり

入場無料
事前登録不要
どなたでも
入場できます

日時 平成18年11月28日(火)
13:00～17:00

場所 いわて県民情報交流センター(アイーナ)
7階 アイーナホール

■プログラム

第一部　13:05～14:30
講演 **「可能性の建築」**
講師:渡　部　和　生(建築家/惟建築計画代表)

第二部　14:45～16:55
パネルディスカッション
「まちづくりにおける公共建築の役割を考える」
■パネリスト
若　松　信　行(建築家/アトリエノルド主宰)
さとう　れいこ(季刊誌「世寸」編集長)
片　桐　宏　典(彫刻家/浮島彫刻代表)
新　沼　正　博(盛岡市都市整備部長)
遠　藤　淳　一(東北地方整備局営繕部長)
■コーディネーター
久木田　禎　一(NPOソーシャルデザインサポート理事長)



主　　催:国土交通省東北地方整備局
共　　催:盛岡市/㈳東北建設協会/㈳公共建築協会東北地区事務局
後　　援:青森県/岩手県/宮城県/秋田県/山形県/福島県/仙台市
お問い合わせ先:国土交通省東北地方整備局営繕部建築課
TEL 022-225-2171　FAX 022-225-2296

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています

「公共建築の日」及び「公共建築月間」企画

公共建築フォーラム 2006 in とうほく

開催趣旨

行政、教育文化、福祉等様々な分野に係わる各種の公共建築は、地域の人々の生活に密接な係わりを持ち、行政サービスはもちろん、地域の活性化、生活・文化水準の向上、街並み・景観の形成等を図るうえで重要な役割を果たしています。そして近年、地域との連係を図りながら、公共建築の整備や運営のあり方を考えるべきという気運が高まってきています。

このような状況を踏まえ、関係団体、地方公共団体及び関係省庁等が幅広く協力しつつ、広く一般の方々にも関心を持っていただきながら、より一層、国民生活に密着したより良い公共建築を目指していきたいという考えのもと、「公共建築の日」(11月11日)及び「公共建築月間」(11月)が創設されました。

東北地方整備局では、「公共建築の日」及び「公共建築月間」の趣旨を踏まえ、多くの皆さんと共に「明日の公共建築のあり方」を考える機会を設けてきましたが、今年も「公共建築フォーラム 2006 in とうほく」を開催し、「まちづくり」をテーマに公共建築を考えてみたいと考えています。

※「公共建築の日」及び「公共建築月間」は、平成15年5月に開催された全国営繕主管課長会議総会にて創設されたものです。
※「公共建築の日」が11月11日に設定されたのは、4つの「1」が建築の基本的な構造を象徴している4本の柱をイメージさせることや国会議事堂の完成時期(昭和11年11月)などに由来しています。

講師・パネリスト・コーディネーター紹介

■講　師
渡部　和生 氏



建築家(惟建築計画代表)、日本大学工学部・東京理科大学工学部非常勤講師。医療施設、高齢者施設、障害者施設、文教施設の設計、研究を行う。
日本建築学会賞、BCS賞、JIA新人賞、グッドデザイン賞、公共建築賞など受賞多数。

■パネリスト
若松　信行 氏

建築家(アトリエノルド主宰)、前日本建築家協会東北支部長、盛岡市都市景観形成推進委員会委員、公共建築賞東北地区審査委員。盛岡市都市景観賞、日本建築士会推薦作品賞、日本建築学会東北建築賞作品賞、空間デザインコンペティション作品例部門金賞など受賞多数。

■パネリスト
さとう　れいこ 氏

鶴岡シビックコア地区整備推進連絡協議会委員、季刊誌「世寸」編集長、はんどれい株式会社専務取締役・企画室長。プランナー・グラフィックデザイナー・イラストレーター・コピーライターとしてトータルにデザインに携わる。

■パネリスト
片桐　宏典 氏

彫刻家、浮島彫刻代表。岩手県美しい〈いわて〉推進委員会委員。主にパブリックスペースでの彫刻を手がけている。2002年度岩手県美術選奨受賞。代表作品は「コスモス」宮城県仙台第一高校モニュメントなど。

■コーディネーター
久木田　禎一 氏

特定非営利活動法人ソーシャルデザインサポート理事長。地域プランナーとして、岩手県内のまちづくりや都市景観づくり、さらには商店街の活性化など多数のプロジェクトに関わるほか、美しい〈いわて〉推進委員会委員長などの公職を務める。



いわて県民情報交流センター(アイーナ)

交通　公共機関をご利用の方：JR盛岡駅から徒歩4分
車をご利用の方：東北自動車道盛岡ICから8分



■お問い合わせ先

国土交通省東北地方整備局営繕部建築課
TEL 022-225-2171　FAX 022-225-2296